

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【公開番号】特開2004-61507(P2004-61507A)

【公開日】平成16年2月26日(2004.2.26)

【年通号数】公開・登録公報2004-008

【出願番号】特願2003-272795(P2003-272795)

【国際特許分類】

**G 0 1 M 11/02 (2006.01)**

**G 0 1 J 9/02 (2006.01)**

**G 0 1 M 11/00 (2006.01)**

【F I】

G 0 1 M 11/02 K

G 0 1 J 9/02

G 0 1 M 11/00 T

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月9日(2006.6.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

干渉応用光ネットワーク・アライザを較正するための装置であって、

制御光学素子のために複数組の干渉応用測定結果を受信する干渉応用測定結果受信部分であって、前記複数組の干渉応用測定結果は、第1の振幅の第1の偏光波および第2の振幅の第2の偏光波を利用して得られる、干渉応用測定結果受信部分と、

前記干渉応用光ネットワーク・アライザに関する較正結果を導くためのプロセッサであって、前記較正結果は、前記複数組の干渉応用測定結果を利用して得られ、前記プロセッサは前記干渉応用測定結果受信部分に結合されており、前記較正結果は、前記干渉応用光ネットワーク・アライザに固有の光学特性に起因する不確実性を低減した状態で、被測定物(DUT)の光学的性質が測定されるのを可能にする、プロセッサと、

前記プロセッサに結合されたユーザ・インターフェイスと、  
を有する装置。

【請求項2】

前記較正結果が、前記第1の振幅と前記第2の振幅の比(R)、及び、前記干渉応用光ネットワーク・アライザに対応する較正行列(Mcal)から構成される、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

干渉応用光ネットワーク・アライザを較正するための干渉方法であって、

制御光学素子のために複数組の干渉応用測定結果を受信するステップであって、前記複数組の干渉応用測定結果は、第1の振幅の第1の偏光波および第2の振幅の第2の偏光波を利用して得られる、ステップと、

前記干渉応用光ネットワーク・アライザに関する較正結果を導き出すステップであって、前記較正結果は、前記複数組の干渉応用測定結果を利用して得られ、前記干渉応用光ネットワーク・アライザに固有の光学特性に起因する不確実性を低減した状態で、被測定物(DUT)の光学的性質が測定されるのを可能にする、ステップと、

を有する方法。